【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成20年10月23日(2008.10.23)

【公開番号】特開2007-74675(P2007-74675A)
【公開日】平成19年3月22日(2007.3.22)
【年通号数】公開・登録公報2007-011
【出願番号】特願2005-262490(P2005-262490)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　5/66　(2006.01)
Ｇ０９Ｇ　5/36　(2006.01)
Ｇ０９Ｇ　5/00　(2006.01)
Ｇ０６Ｔ　7/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　5/66　Ｄ
Ｇ０９Ｇ　5/36　５２０Ｐ
Ｇ０９Ｇ　5/36　５２０Ｆ
Ｇ０９Ｇ　5/00　５１０Ｓ
Ｇ０９Ｇ　5/00　５１０Ｖ
Ｇ０６Ｔ　7/00　１００Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成20年9月5日(2008.9.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１の画像の画素の画素値を基に、その画素の特徴を示す値を算出する算出手段と、
　前記第１の画像の画素のうち、前記特徴を示す値に基づく所定の条件を満たす画素を含む、前記第１の画像上の領域を選択する選択手段と、
　選択された前記領域が含まれる前記第１の画像上の領域が拡大された第２の画像の表示を制御する表示制御手段と
　を備える画像処理装置。
【請求項２】
前記選択手段は、前記第１の画像上において、前記条件を満たす画素が連続する領域を検出し、検出された領域のうち、前記第１の画像の中心から最も近い領域を選択する
　請求項１に記載の画像処理装置。
【請求項３】
前記選択手段は、既に選択された前記第１の画像の前記領域が除かれた前記第１の画像上の領域から、前記条件を満たす画素を含む、前記第１の画像上の他の領域をさらに選択する処理を所定の回数だけ繰り返し行い、
　前記表示制御手段は、前記処理が前記回数だけ繰り返されてから選択された、前記他の領域が含まれる前記第１の画像上の領域が拡大された第２の画像の表示を制御する
　請求項１に記載の画像処理装置。
【請求項４】
前記算出手段は、前記第１の画像の画素の色相を示す値を算出し、
　前記選択手段は、前記第１の画像の画素のうち、前記色相を示す値が、所定の範囲内の

値である画素を含む、前記第１の画像上の領域を選択する
　請求項１に記載の画像処理装置。
【請求項５】
前記第１の画像の画素の画素値と、その画素に隣接する画素の画素値との差分を基に、前記第１の画像からオブジェクトを検出する検出手段と、
　前記色相を示す値が前記範囲内の値である前記第１の画像上の画素の数が、所定の値以上であるか否かを判定する判定手段と
　をさらに備え、
　前記表示制御手段は、前記判定手段による判定結果に応じて、選択された前記領域が含まれる前記第１の画像上の領域が拡大された第２の画像の表示を制御するか、または検出されたオブジェクトが含まれる前記第１の画像上の領域が拡大された第２の画像の表示を制御する
　請求項４に記載の画像処理装置。
【請求項６】
前記表示制御手段は、前記第１の画像および前記第２の画像が同時に表示されるように、前記第２の画像の表示を制御する
　請求項１に記載の画像処理装置。
【請求項７】
前記選択手段は、前記第１の画像の画素のうち、前記特徴を示す値が予め定められた所定の範囲内の値である画素を含む領域を選択する
　請求項１に記載の画像処理装置。
【請求項８】
前記選択手段は、前記条件を満たす全ての画素が含まれるように、前記第１の画像上の領域を選択する
　請求項１に記載の画像処理装置。
【請求項９】
前記選択手段は、前記第１の画像上において、前記条件を満たす画素が連続する領域を検出し、検出された領域のうち、最も面積が大きい領域を選択する
　請求項１に記載の画像処理装置。
【請求項１０】
　第１の画像の画素の画素値を基に、その画素の特徴を示す値を算出し、
　前記第１の画像の画素のうち、前記特徴を示す値に基づく所定の条件を満たす画素を含む、前記第１の画像上の領域を選択し、
　選択された前記領域が含まれる前記第１の画像上の領域が拡大された第２の画像の表示を制御する
　ステップを含む画像処理方法。
【請求項１１】
第１の画像の画素の画素値を基に、その画素の特徴を示す値を算出する算出ステップと、
　前記第１の画像の画素のうち、前記特徴を示す値に基づく所定の条件を満たす画素を含む、前記第１の画像上の領域を選択する選択ステップと、
　選択された前記領域が含まれる前記第１の画像上の領域が拡大された第２の画像の表示を制御する表示制御ステップと
　をコンピュータに実行させるプログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】
画像処理装置には、前記第１の画像の画素の画素値と、その画素に隣接する画素の画素値との差分を基に、前記第１の画像からオブジェクトを検出する検出手段と、前記色相を示す値が前記範囲内の値である前記第１の画像上の画素の数が、所定の値以上であるか否かを判定する判定手段とをさらに設け、前記表示制御手段には、前記判定手段による判定結果に応じて、選択された前記領域が含まれる前記第１の画像上の領域が拡大された第２の画像の表示を制御させるか、または検出されたオブジェクトが含まれる前記第１の画像上の領域が拡大された第２の画像の表示を制御させるようにすることができる。
前記表示制御手段には、前記第１の画像および前記第２の画像が同時に表示されるように、前記第２の画像の表示を制御させるようにすることができる。
前記選択手段には、前記第１の画像の画素のうち、前記特徴を示す値が予め定められた所定の範囲内の値である画素を含む領域を選択させるようにすることができる。
前記選択手段には、前記条件を満たす全ての画素が含まれるように、前記第１の画像上の領域を選択させるようにすることができる。
前記選択手段には、前記第１の画像上において、前記条件を満たす画素が連続する領域を検出させ、検出された領域のうち、最も面積が大きい領域を選択させるようにすることができる。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２５
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２６
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３１】
画像処理装置には、前記第１の画像の画素の画素値と、その画素に隣接する画素の画素値との差分を基に、前記第１の画像からオブジェクトを検出する検出手段（例えば、図２３の検出部２５１）と、前記色相を示す値が前記範囲内の値である前記第１の画像上の画素の数が、所定の値以上であるか否かを判定する判定手段（例えば、図２３の中央処理部９３）とをさらに設け、前記表示制御手段（例えば、図２４のステップＳ３１０の処理を実行するズーム処理部１１３）には、前記判定手段による判定結果に応じて、選択された前記領域が含まれる前記第１の画像上の領域が拡大された第２の画像の表示を制御させるか、または検出されたオブジェクトが含まれる前記第１の画像上の領域が拡大された第２の画像の表示を制御させるようにすることができる。
前記表示制御手段（例えば、図７のステップＳ６６の処理を実行するズーム処理部１１３）には、前記第１の画像および前記第２の画像が同時に表示されるように、前記第２の画像の表示を制御させるようにすることができる。
前記選択手段（例えば、図９のステップＳ９７の処理を実行する領域決定部１１１）には、前記第１の画像の画素のうち、前記特徴を示す値が予め定められた所定の範囲内の値である画素を含む領域を選択させるようにすることができる。
前記選択手段（例えば、図９のステップＳ９７の処理を実行する領域決定部１１１）には、前記条件を満たす全ての画素が含まれるように、前記第１の画像上の領域を選択させるようにすることができる。
前記選択手段（例えば、図９のステップＳ９７の処理を実行する領域決定部１１１）には、前記第１の画像上において、前記条件を満たす画素が連続する領域を検出させ、検出された領域のうち、最も面積が大きい領域を選択させるようにすることができる。